



中期経営計画の進捗

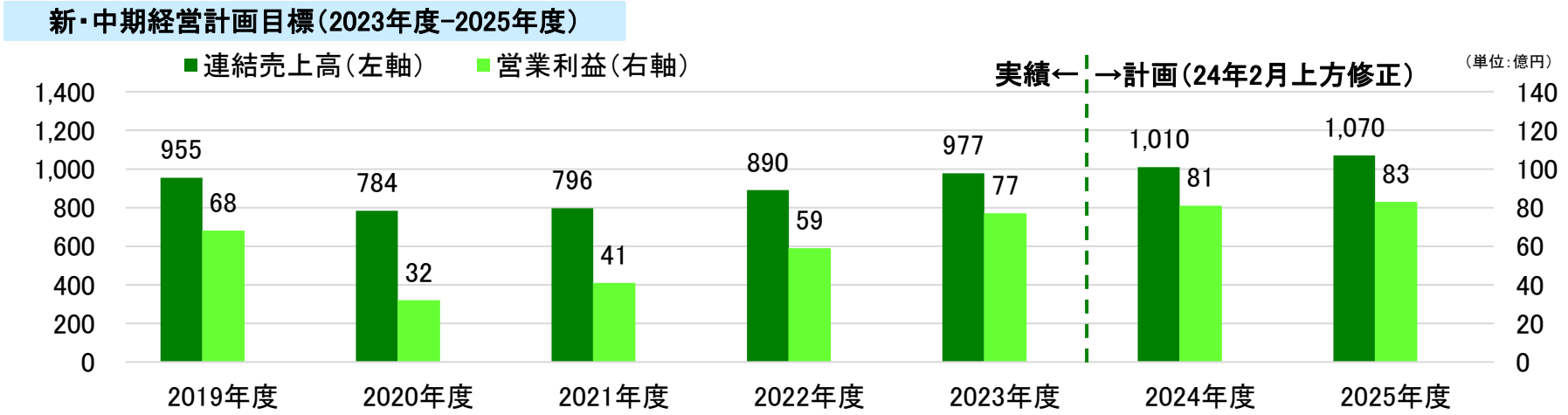
2024年12月期第2四半期 決算説明資料より抜粋

2024年9月2日



中期経営計画の数値目標の進捗

スローガン	進化 - パーパス経営・サステイナブル経営のスタート -
2025年度目標 ※24年2月上方修正	連結売上高 1,070億円 営業利益 83億円 ROE 8%以上 ROIC 8%以上



(単位:億円)

	2023年度			2024年度		
	中間期実績	通期実績	中間期時点進捗率	中間期実績	通期計画	中間期時点進捗率
連結売上高	449	977	45.9%	466	1,010	46.1%
営業利益	30	77	38.9%	35	81	43.2%
売上高営業利益率	6.7%	7.9%	-	7.5%	8.0%	-

中期経営計画の数値目標の進捗

概要

- ◆ 2024年度計画値達成に対して順調に推移
 - ◇ 食品市場・紙袋／紙器での伸長が当中間期の業績に寄与
 - ◇ 市場環境・品種別需要に不透明感はあるものの、通期計画としては達成見込み

市場別数値目標

(単位:億円)

	2023年度 中間期 実績	2023年度 通期 実績	中間期時点 進捗率	2024年度 中間期 実績	2024年度 通期 計画	中間期時点 進捗率
食品(*)	121	282	42.9%	133	300	44.3%
EC／通販／物流(*)	70	147	47.6%	74	155	47.7%
一般流通小売他	258	548	47.1%	259	555	46.6%
合計	449	977	46.0%	466	1,010	46.1%

(*) 中期経営計画における「食品」、「EC／通販／物流」市場は、顧客の業種に加え、商品の用途も考慮し区分

品種別数値目標

(単位:億円)

	2023年度 中間期 実績	2023年度 通期 実績	中間期時点 進捗率	2024年度 中間期 実績	2024年度 通期 計画	中間期時点 進捗率
紙袋	130	297	43.7%	143	310	46.1%
紙器	113	250	45.2%	121	265	45.6%
段ボール	63	125	50.4%	59	125	47.2%
化成品	67	138	48.6%	63	135	46.7%
その他	76	168	45.2%	80	175	45.7%
合計	449	977	46.0%	466	1,010	46.1%

食品市場向け成長戦略の進捗

定量目標の進捗

(単位: 億円)

2023年度 中間期実績	2024年度		2025年度 目標
	中間期実績	通期計画	
121	133	300	320

◆ 食品一次容器の拡販、紙製トレイ・モールド容器などへの取り組み

(単位: 億円)

	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期実績	前期比
食品市場での紙器全体	66.3	73.0	10.1%
内 食品一次容器	34.5	41.7	20.9%
(参考) 食品市場での紙袋	33.5	35.7	6.6%

- ・紙化トレンドを追い風に受注件数の増加、さらなる領域拡大に取り組む
- ・高機能・高品質が要求される案件の取り組みが増加、開発・検証に注力
- ・設備投資は計画通り進捗、早期稼働による業績寄与を目指す

展示会出展による顧客・業界内での認知度向上

<ファベックス2024へ出展>

- ・東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて開催(2024年4月10日～12日)されたFABEX東京2024に出展
- ・中食・外食業界の業務用商材に関わる企業・バイヤーが集まる場で、当社の食品市場向けパッケージや企画力をアピールすることができ、多くの商談に繋がった



進捗の概要

- ◆ 取り組みの順調な進捗により各指標において伸長
 - ◇ 開発商品の拡販と周辺サービス含む複合販売の推進により受注増
 - ◇ 食品市場向け商品を対象とした設備投資も順調に推移

◆ 軟包装の拡販・複合販売

(単位: 億円)

※食品市場向けのみ	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期実績	前期比
軟包装	6.5	7.0	7.7%

- ・オリジナル高付加価値商品、デザイン提案、他商品との複合販売で強みを発揮し、売上伸長
- ・営業活動の全国展開、菓子業界以外の食品分野の取り組み

◆ 環境負荷低減に貢献する素材・加工の開発、FSC®商品の拡販 (FSC® C020517)

(単位: 億円)

※食品市場向けのみ	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期実績	前期比
FSC®商品	22.7	25.9	14.1%

- ・脱フッ素、脱プラスチック素材や加工開発を継続

◆ 省人化・効率化・自動化に貢献するソリューション提案の推進

- ・2023年に稼働した神奈川県の設定アップ拠点
拠点が本格稼働、順調に受注獲得
- ・2024年度中に稼働を目標とする西日本での設定アップ拠点設立を準備中

写真: 神奈川県の設定アップ拠点



EC／通販市場／物流業界向け成長戦略の進捗

定量目標の進捗

(単位:億円)

2023年度 中間期実績	2024年度		2025年度 目標
	中間期実績	通期計画	
70	74	154	180

進捗の概要

- ◆ 当社の強みである宅配袋の受注が好調、当市場での成長をけん引
 - ◇ 紙製宅配袋・薄型配送箱の設備投資により、供給能力が拡大
 - ◇ 省人化・自動化・効率化の要請に対する研究開発・営業活動が活発に

◆得意先での輸送効率向上に貢献できる宅配袋の販売強化

(単位:億円)

	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期実績	前期比
紙製宅配袋	3.5	5.9	68.6%
その他宅配用資材	3.7	4.4	18.9%

- ・市場ニーズの後押しもあり、大手ユーザー中心に拡販が奏功
- ・東日本での設備投資を実施、高需要エリアでの供給能力向上
- ・海外サプライヤーの開拓、技術面での協業により競争力の向上
- ・多様な商品ラインアップの構築のための設備投資の継続

◆重量物対応の強化段ボールのさらなる拡販

(単位:億円)

	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期実績	前期比
強化段ボール	5.5	4.7	▲14.5%

- ・足元の市場環境で弱含みはあるものの、「自社内での設計提案能力」という強みを活かした販売活動を継続し、拡販を目指す

◆自動梱包向けの素材・加工の開発、および拡販

◆得意先での省人化に貢献できる提案販売の強化

- ・物流業界に留まらず、メーカーからの引き合いも増加
- ・自動梱包における脱プラスチックの取り組みが着実に進展
- ・自動化ラインの設計含めた商品販売でも成果



紙製配送袋
自動包装機



紙製配送袋
仕上がりがイメージ

展示会出展による顧客・業界内での認知度向上

＜TOKYO PACK 2024（東京国際包装展）への出展予定＞

- ・東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて開催(2024年10月23日～25日)されるTOKYO PACK 2024に出展予定
- ・さまざまな業界で活躍する包装資材・容器・包装機械やサービスに関わる企業・バイヤーが集まる場で当社も脱プラスチック対応の自動包装機の紹介を行い、当市場での事業拡大を目指す



(参考) 2023年に出席したJAPAN PACK
当社ブース

一般流通小売市場、他市場向け成長戦略の進捗

定量目標の進捗

(単位: 億円)

2023年度 中間期実績	2024年度		2025年度 目標
	中間期実績	通期計画	
258	259	556	570

進捗の概要

◆市場環境の変化に対して、販売戦略と供給体制が奏功

- ◇ 流通小売市場はインバウンド等により好況、イベント品・高付加価値品の増加
- ◇ 紙袋設備投資による生産性向上、生産能力向上も順調に推移

◆紙袋シェアの拡大、および紙化を推進する更なる提案販売

(単位: 億円)

一般流通小売市場、 他市場	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期実績	前期比
紙袋	68.0	71.0	4.4%
(参考) 化成品	39.2	36.2	▲7.7%

- ・規模の大小を問わず、紙化案件は当期も継続して発生、受注状況も順調
- ・インバウンドによる需要増に対して十分な商品ラインアップと供給体制が奏功
- ・イベントや販促用紙袋の需要に対し、高付加価値品の販売を推進
- ・高精細印刷機の大規模投資により製造能力が向上

◆ASEANにおける販路の開拓

- ・各地域に最適なサプライチェーンの構築
- ・ラグジュアリー業界やアパレル業界を中心にグローバル企業でのアジア市場の商圈獲得への取り組み
- ・日本企業のアジア市場向けパッケージ輸出の支援

◆お客様とともに社会貢献を推進(ザ・パックフォレスト®環境基金活動)

	2023年度 実績	2024年度 中間期実績	2030年度 目標
年間活動回数(回)	9	5	15
参加人数(人)	253	124	500
内 お客様人数(人)	65	25	-

- ・得意先における環境、社会貢献意識の高まりから積極的な参加の場へ進化

展示会出展による顧客・業界内での認知度向上

<第13回化粧品開発展 東京へ出展>

- ・東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて開催(2024年1月17日～19日)
- ・された第13回化粧品開発展東京に出展
- ・化粧品関連商材に関わる企業、バイヤーが集まる場で当社の高付加価値商品、多彩な紙製パッケージ、企画提案力をアピール
- ・多くの商談と取引に繋がっている



人的資本戦略の進捗

概要

- ◆ 成長を支える人材の確保と価値最大化を目指した各施策の実施
 - ◇ 制度改定・賃上げによる処遇の向上
 - ◇ 人材育成プログラムの充実と新設

多様な人材の確保

	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期実績
キャリア採用	29	19
リファラル・カムバック採用	8	5

働く環境の整備

- ・非正規雇用者の処遇改善
定年後の継続雇用者向けの賃金規程の改正
全ての世代の従業員のモチベーション向上を目指す

人材育成

- ・新たに導入した研修を含む様々な階層に応じた教育プログラムの実施
2024年中間期実施済の研修
入社前研修・新入社員研修・課長能力研修など

- ◆ 職場改善研修(新)
職場内コミュニケーションの強化とハラスメント
防止を目的とし、グループワークによる会話を
通じて職場全体で働きやすい環境作りを目指す



- ◆ DX研修(第2期)
2023年度: 非IT専門職のマインド醸成・DX人材の発掘
(約700名対象)
2024年度: 発掘した人材の育成・成果創出の為のプログラムの実施中
(約150名対象)

- ◆ パッケージのトータルソリューション力を育成する取り組み
より複雑化し変化する商品や加工について販売に必要な知識を共
有する勉強会の開催やアプリや動画ツールの開発・提供

従業員エンゲージメントの向上

- ・賃上げの継続 2024年度 平均5.50%
(2023年度 平均5.01%)
- ・持株会への加入促進による経営参画意識の向上
社員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブの実施

人員計画

	2023年度 12月末実績	2024年度 6月末実績	進捗率	2025年度 計画
正社員・契約社員・パート含む全従業員数	1,836名	1,866名	56.1%	1,920名

- ・販売力強化に関連する部門を中心に増員の実施

財務戦略の進捗

概要

- ◆ 成長性と企業価値向上を目指した各施策の実行
 - ◇ 食品市場向け紙器・紙袋を中心とした設備増強計画が順調に推移
 - ◇ 株主還元としての自社株買いが計画通り進行、統合報告書の発刊

設備投資

(単位:億円)

		当初計画 (2023～ 2025年度)	2023年度 実績	2024～ 2025年度 計画	2024年度 中間期 実績
戦略投資	紙器製造能力増強	20.0	7.9	16.6	2.3
	紙袋製造能力増強	30.0	7.8	20.7	11.7
	合理化・省人化	11.0	1.2	9.6	0.8
	省エネ・省資源	2.0	0.4	1.5	0.0
	その他	2.0	0.1	0.8	0.5
	戦略投資 計	65.0	17.4	49.2	15.3
土地取得	工場設備維持他	20.0	5.6	12.0	1.5
	大阪工場近隣工場用地	-	19.0	-	0.0
	東京工場隣接工場用地	-	3.8	-	0.0
	本社建替		10.0	-	-
合計		85.0	55.8	61.2	16.8

M&A

・コアビジネスの拡充、事業領域の拡大の両面で調査・検討中

基幹システム刷新

- ・2025年度の基幹システム刷新に向けた投資
業務や経営の効率化とともに経営資源の最適化を推進

(単位:億円)

	2024年度 計画	2024年度 中間期実績	2023～2025年度 計画
基幹システム刷新投資額	10	5.4	20

人的投資

- ・人材の採用や継続的な賃上げ、研修などの人材育成に当期も積極的に投資

株主還元

- ・年間10億円を上限とした自社株買い
2024年1～6月実績 約3.3億円実行済
2024年度末まで計画通り行う予定
- ・投資家・株主の皆様との対話
当社へのご理解を頂けるよう、「統合報告書」を発刊